

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月25日

（報告先）  
横浜市長

住所 横浜市港南区最戸1丁目8番5号

氏名 京浜ハイヤー株式会社  
代表取締役 岩浦 泰二

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	京浜ハイヤー株式会社 代表取締役 岩浦 泰二					
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市港南区最戸1丁目8番5号					
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業				
	中分類	43 道路旅客運送業				
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	134	台

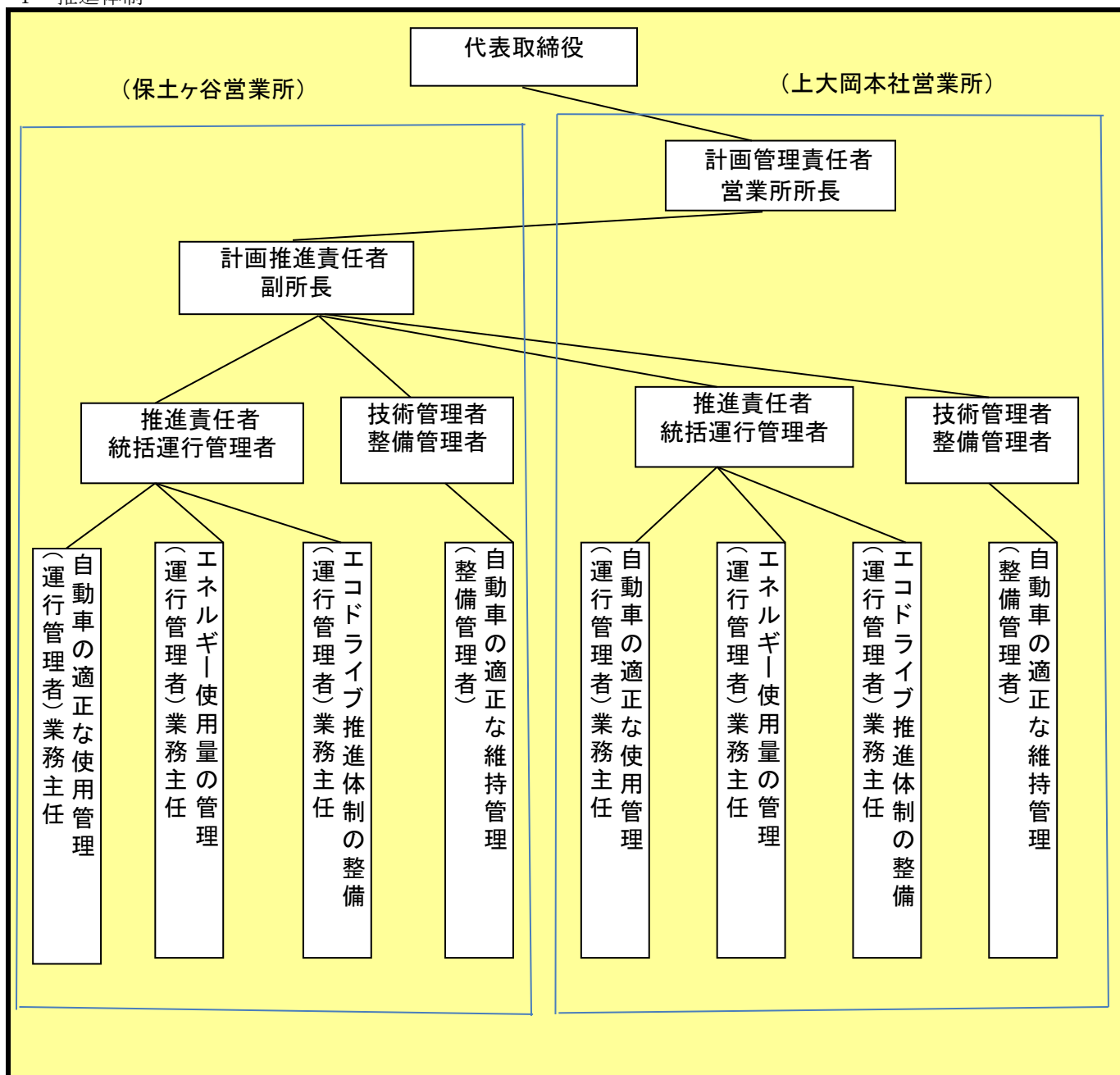
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

〔基本方針〕  
当社では、横浜市における生活環境の保全及び地球温暖化の防止を図るため、温室効果ガスの排出の抑制等に関する取り組みを事業活動の中で積極的に行い、本計画書に則って推進し、確実に履行していく事を基本方針とする。また、本計画を当社としての地球温暖化対策の根幹と成す指針とし、計画責任者を中心とした計画推進体制に基づき、事業者全体で積極的に取り組んで行くこととする。

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	京浜ハイヤー株式会社 上大岡本社営業所
	所在地	横浜市港南区最戸1丁目8番5号
	閲覧可能時間	9:00 ~ 15:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	4,750	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,750	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	4,750	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	エコドライブ等の施策を推進し、温室効果ガスの排出量を増加させないことを目標とする。								
事業者全体としての目標等	当社としての温室効果ガスの削減にむけての目玉となる施策は無いものの、日々の事業活動において、地球温暖化対策の重要性を十分に理解し、目標年度までに温室効果ガスの排出量を増加させないことを目標とする。								
第一年度 (2016年度)	排出量	4,293	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.6 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,293	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.6 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	エコドライブを徹底させる事及びグループ会社で使用しなくなった無線機を設置し、無駄な空車走行を削減する事、又は、予約を積極的に受け付ける事等を実施した結果、年間走行距離で約4%の削減となり、その結果、温室効果ガスの排出量が9.6%の削減結果となった。								
第二年度 (2017年度)	排出量	4,234	t-CO <sub>2</sub>	削減率	10.9 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	4,234	t-CO <sub>2</sub>	削減率	10.9 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	本年度中、車両145台の内11台の減車が実施されたことにより、温室効果ガスの排出量10.9%の削減結果となった。								
第三年度 (2018年度)	排出量	3,310	t-CO <sub>2</sub>	削減率	30.3 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,310	t-CO <sub>2</sub>	削減率	30.3 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	前年度実施された11台の減車影響及びタクシー利用客の減少に伴う走行距離の減少により、温室効果ガスの排出量30.3%の削減結果となった。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	温室効果ガス排出量の削減につながった主な要因としては、第二年度に実施された11台の減車及びタクシー利用客の減少に伴う走行距離の減少である。 また、予約配車及びアプリ配車等を利用することによる、無駄な走行の削減も一つの要因と考えられる。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車	145	4,387	145	4,041	134	3,790	134	3,224
合計	145	4,387	145	4,041	134	3,790	134	3,224
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	9.7	%	9.7	%	10.5	%	17.9	%



10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		#VALUE! %		3,310											
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	無線機を設置し無駄な空車走行を削減	上大岡保土ヶ谷	2016	車両145台中4台に無線機を設置					車両145台中112台に無線機を設置したことにより、効率的に無線配車を実施し、流し営業（無駄な走行）の削減に努めている。					千円	
														千円	
														千円	
														千円	
														千円	

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	
第一年度実績	
第二年度実績	
第三年度実績	ごみの分別の徹底、ビジネスチャットを利用したペーパーレス化の推進

14 実施状況等に対する自己評価

第二年度で実施された減車及び利用客減少に伴う走行距離の減少により、温室効果ガスの減少結果に結びついた。
---